

グラスゴー宣言

(UNWTO 駐日事務所 参考訳)

この宣言は、観光分野における気候変動対策を加速し、今後 10 年間で観光部門での CO2 排出量を半減させ、2050 年までに可及的速やかに「ネット・ゼロ エミッション」を達成するための強力な行動とコミットメントを確保する必要性が急激に高まってきたことを受け、これらの動きを促進するものです。

グラスゴー宣言: 今後の 10 年間に向けての観光の気候行動へのコミットメント

私たちは、化石燃料への依存、持続可能ではない土地利用、無駄な消費パターンが、気候変動、汚染、生物多様性の喪失を引き起こすことを長く認識していました。最近では、COVID-19 を契機として、これらの影響と人間の健康に対するリスクとの関係について意識が深まっています。

自然との関係を再び均衡させることが、その生態学的衛生と、私たちの個人的、社会的、経済的幸福を再生させるために不可欠です。また、繁栄する生態系に依存し、かつ関連する観光にとっても重要です。自然及び自然と私たちとの関係を回復させることは、パンデミックからの観光セクターの回復、そして将来の繁栄とレジリエンスの鍵となると考えられます。

私たちは、効果的な気候変動対策を実施するために、観光を変革するという目的のもとに、すべての利害関係者の結束という共通のコミットメントを宣言します。また、2030 年までに CO2 排出量を半減させ、2050 年までにできるだけ早くネット・ゼロを達成するという世界的なコミットメントを支持します。我々のアプローチが 2100 年までに工業化以前の気温レベルから確実に 1.5°C 以内の上昇にとどめるという目標に合致するように、一貫して我々の行動を最新の科学的勧告と連携させます。

最新の UNWTO/ITF の調査によれば、観光セクターの CO2 排出量は 2005 年から 2016 年にかけて 60% 以上増加し、運輸部門の CO2 排出量は 2016 年に世界全体の 5% を占めました。セクター別 CO2 排出量は、脱炭素化を加速しなければ、2016 年と比較して 2030 年までに 25% 以上増加する可能性があります。

「COVID-19 からの観光の責任ある復興のためのワン・プラネット・ビジョン」に示されているように、グリーンな復興にコミットし、計画することは、パリ協定の目的に沿って観光セクターを変革するまたとない機会となります。私たちが炭素や物質を大量に消費して観光体験を提供する方法をやめて、地域コミュニティと生態系の健全な状態を優先すること

で、観光は低炭素型の未来への変革をリードします。

代替策では脆弱性が増大します。気候変動、汚染、生物多様性の喪失は、観光活動の大半を危険にさらします。海面水位の上昇、洪水の頻度の増加、その他の極端な気象現象は、インフラやサプライチェーンから食料の安全保障まで、あらゆる場面における地域コミュニティの生計を脅かしています。

気候変動の影響は、女性、先住民のコミュニティ、障がいのある人々、小島嶼国など、少数派の脆弱なグループが最も大きな打撃を受けています。観光の公正で包括的な変革は、彼らの声やニーズ、変革しなければ積極的に行動しないことの「ツケ」を払うこととなる若い世代の人々を優先させなければなりません。

2050年までのネット・ゼロへの移行は、観光の回復が持続可能な消費と生産の適用を加速させ、経済的価値のみならず生態系、生物多様性、地域コミュニティの再生を考慮し、将来の成功の意味を再定義する場合にのみ可能です。

ツーリズムの気候変動に対する協調計画

この宣言は、政府・機関、資金提供者（ドナー）・金融機関、国際機関、市民社会、民間セクター、学術機関を含む観光関係者間で気候変動対策をリードし、調整することを目的としています。

締約団体として、私たちは署名してから12か月以内に気候変動対策計画にコミットし、同計画に沿って順次、実施に取り組めます。

もし私たちが既に計画を有している場合、この宣言に沿ってその計画を同じ期間に更新するか、実施することにコミットします。

私たちは、中間目標及び長期目標に対する進捗並びに実施されている措置を、少なくとも毎年公表することにコミットします。

気候変動対策がすべての観光分野で整合的であることを確実にするため、計画が従うべき以下の5つの共通手順に合意します。

① 測定

旅行・観光関連の排出量を測定・公表します。私たちの方法論とツールが、測定、報告、検

証に関する UNFCCC 関連ガイドラインと整合しているとともに、透明性があり、アクセス可能であることを保障します。

② 脱炭素

観光の脱炭素化を加速するために、気候科学に沿った目標を設定し達成します。これには、運輸、インフラ、宿泊、活動、飲食、廃棄物管理が含まれます。オフセットは補助的な役割を果たすかもしれませんが、それは実際の削減の補完でなければなりません。

③ 再生産

生態系を回復・保護し、自然が炭素を削減する能力を支えるとともに、生物多様性、食料の安全保障、水の供給を保護します。観光業の多くは、気候変動の影響に対して直ちに脆弱な地域に拠点を置いているため、観光セクターが、強靱性構築、適応、災害対応において、被災地域やリスクのあるコミュニティを支援できることを保障します。訪問客や受け入れ先の地域コミュニティが自然とのより良いバランスを保てるよう支援します。

④ 協働

リスクと解決策の根拠をすべての利害関係者および私たちのゲストと共有し、私たちの計画が可能な限り効果的かつ調整されたものとなるように協働します。国・地方自治体、市民社会、大企業・中小企業、脆弱なグループ、地域コミュニティ、訪問客など、あらゆるレベルでのガバナンスと行動能力を強化します。

⑤ 資金

移行を加速するために適切な場合には、研修、調査及び効果的な財政・政策ツールの実施を含め、組織の資源と能力が気候計画に定められた目標を達成するのに十分であることを確実にします。

私たちは、これらの方針に沿って計画を実行し、今後 10 年間で観光活動による CO2 排出量を半減させ、2050 年までのできるだけ早い時期にネット・ゼロ・エミッションを達成することをコミットします。